

コンピュータ・システム診断結果シートについて

別添

近年の車両は、低燃費性能の追求や交通事故回避等のため、電子装置を多用して制御しており、スキャンツールを使用しなければ正確な状態を把握することが困難な装置が増加しております。

スキャンツールによる診断は、不具合の早期発見の観点からも、故障修理時のみではなく定期点検時等に継続的に実施することが好ましいと思われませんが、整備事業場において診断を実施する場合は、その必要性を自動車ユーザーに十分説明するとともに、診断結果を分かりやすい形で提示することが重要であります。

コンピュータ・システム診断結果シートは、診断内容及び結果を分かりやすく提示するためのツールとしてご用意したものといたしますので、自動車ユーザーへの説明等にご活用ください。



ユーザーに必要性を十分説明



診断結果をユーザーに分かりやすい形で提示



一般社団法人日本自動車整備振興会連合会

■コンピュータ・システム診断結果シート（PDFファイルで提供）

PDFファイル上で各種情報や診断結果の入力及びプルダウン方式により選択し診断結果シートを作成した後プリントが可能です。
 また、プリント後はPDFデータをパソコンに保存することで事業場控えをデータで保管することも可能です。
 ※PDFファイル上での入力をせずそのままプリントし、手書きによる診断結果シートの作成も可能です。



コンピュータ・システム診断結果

（スキャンツールによる読み取り結果）



※使用例を示すため仮情報を入力してあります。

お客様情報		お客様名	点検 良好 様			診断日	平成28年 2月 25日	
車両情報	車名(通称名)	〇〇〇〇〇	車両型式	ABCD	エンジン・モータ型式	ABC-DE	走行距離	50,000 km
	登録(届出)番号	500 あ 0000	車台番号	ABCD0000000		トランスミッション	<input type="checkbox"/> AT	<input checked="" type="checkbox"/> CVT
お客様のご依頼内容		定期診断(法定2年定期点検と併せて実施)		各記入欄についてはPDF上で文字入力が可能となります。				

システム名	コード	故障コード	想定される故障・不具合内容
エンジン電子制御システム	有	P0000	〇〇センサ系統異常
HV / PHV / EV 電子制御システム	該当なし		想定される故障・不具合内容
トランスミッション電子制御システム	無		想定される故障・不具合内容
ブレーキ電子制御システム (ABS など)	無		想定される故障・不具合内容
ステアリング電子制御システム	無		想定される故障・不具合内容
エアバッグ作動システム	無		想定される故障・不具合内容
〇〇〇制御システム	無		想定される故障・不具合内容

診断結果(故障コードの有無)をPDF上でプルダウン選択可能

事業場名、所在地、認証番号	有無	整備士からのアドバイス・その他
JASPAモータース 東京都港区六本木6-10-1 認証番号0000 TEL:03-3404-6141 ☆クルマの点検・整備は当社にお任せください☆	有	今回の点検により、故障コードが1つ検出されました。 検出したコードから〇〇センサ系統の故障・不具合が想定されましたので、お客様へご連絡しご承いただいた後、整備士による故障探究を実施させていただきました。 故障探究の結果、〇〇センサの不良が認められましたので、当該センサを交換させていただきました。 入庫時に若干のアイドリング不安定となっておりますが今回の整備により改善されましたので、安心してご乗車ください。 なお、自動車の電子制御システムは機械的な装置と違い目に見えない不具合が発生している可能性があるため、専門的な知識を有した整備士による定期的なシステム診断の実施が重要となりますので、1年後に再度当該診断を実施いただくことをお勧めします。
診断実施者の氏名		
てんけんくん		

※不具合内容等により、スキャンツールによる故障コードの読み取り以外の診断が必要になる場合があります。
 ※車種等により、コンピュータ・システム診断の対象外となるシステム（装置）が存在します。

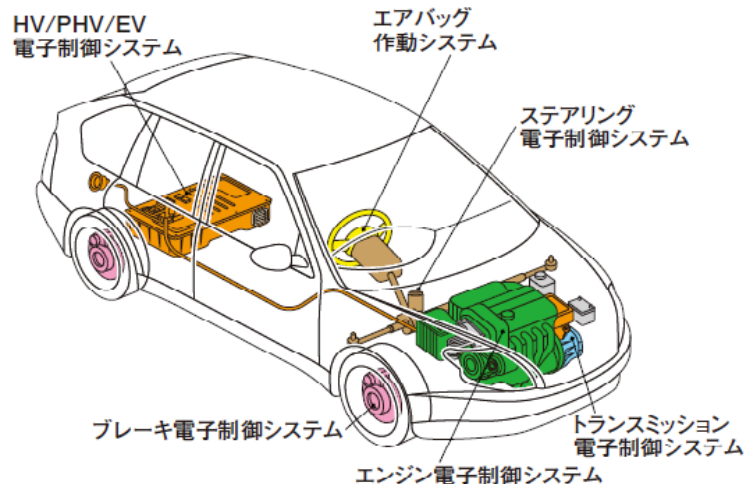
略語説明：HV(ハイブリッド)、PHV(プラグインハイブリッド)、EV(電気自動車)

■コンピュータ・システム診断の必要性説明資料（PDFファイルで提供）

コンピュータ・システム診断の必要性を自動車ユーザーに説明する際の資料として作成したものとなります。診断結果シートと共に両面印刷等でプリントしてご活用ください。

自動車のコンピュータ・システムのご説明 (システム説明用)

システム配置図



警告灯マーク（電子制御システム）（一例）

エンジン警告灯 (橙色)	ブレーキ警告灯 (赤色)	ABS 警告灯 (橙色)	ステアリング警告灯 (赤色)	エアバッグ警告灯 (赤色)

警告灯には各装置の異常をドライバーに知らせる役割があり、これらの装置に不具合などが発生するとエンジン作動状態で点灯または点滅する為、そのような場合は速やかに整備工場に連絡し、点検を受けてください。

また警告灯は消灯しているのが正常な為、エンジンスイッチを ON の状態で点灯を確認し、その後、エンジンを始動させて異常がないものは消灯するシステムとなります。

なおブレーキ警告灯については、パーキング・ブレーキ解除時に異常がない場合は、消灯するシステムとなります。

システム	説明
エンジン電子制御システム	エンジンには環境、燃費、安全、快適性能を得るため数多くの電子装置が使用されています。それらの装置が故障すると各性能が維持できなくなり、突然のエンジン停止など重大な故障に陥る可能性があります。
HV / PHV / EV 電子制御システム	HV / PHV / EV 装置には、駆動力のアシストや駆動用バッテリーへの充電など高電圧装置を含む数多くの電子装置が使用されています。それらの装置が故障するとモータによるアシストまたは駆動ができなくなり、燃費の悪化や走行不能に陥る可能性があります。
トランスミッション電子制御システム	トランスミッションには、環境、燃費、安全、快適性能を得るため数多くの電子装置が使用されています。それらの装置が故障すると各性能が維持できなくなり、突然の走行不能など重大な故障に陥る可能性があります。
ブレーキ電子制御システム (ABS など)	ブレーキの ABS 装置などには、急ブレーキ時や旋回時などにクルマの安定性を確保するため数多くの電子装置が使用されています。それらの装置が故障すると各性能が維持できなくなり、クルマの安全性や本来の性能を大きく損なわれる可能性があります。
ステアリング電子制御システム	ステアリング装置には、ハンドル操作力を最適にアシストするための電子装置が使用されています。それらの装置が故障するとハンドル操作力が極端に重くなりクルマの進行方向を制御できなくなるなど、重大な事故に至る可能性があります。
エアバッグ作動システム	エアバッグ装置には、万が一衝突事故などを起こした際に確実にエアバッグを作動させるための電子装置が使用されています。それらの装置が故障すると必要となった際にエアバッグが正常に作動しないなど、運転者や同乗者の人命に係わる事態に至る可能性があります。

略語説明：HV（ハイブリッド）、PHV（プラグインハイブリッド）、EV（電気自動車）
 ※不具合内容等により、スキャンツールによる故障コードの読み取り以外の診断が必要になる場合があります。
 ※車種等により、コンピュータ・システム診断の対象外となるシステム（装置）が存在します。